

公開シンポジウム

概要紹介動画!!
(右QRコード参照)

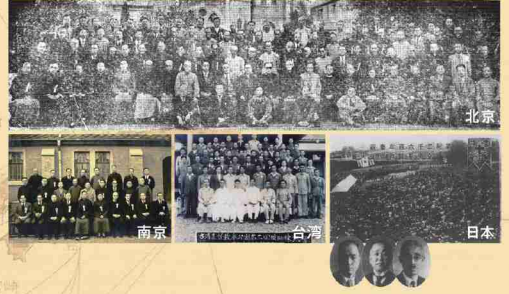


参加費
いずれも
無料

大東亜共栄圏とキリスト教

— 戦時期東アジア地域における教会合同運動

- 「富田満をめぐる諸課題」 落合建仁 (金城学院大学)
- 「満洲基督教会(1942)」 渡辺祐子 (東北学院大学)
- 「華北中華基督教団(1942)」 宋軍 (香港・中国神学研究院)
- 「南京中華基督教団(1943)」 松谷曄介 (金城学院大学)
- 「日本基督教台湾教団(1944)」 高井ヘラー由紀 (台湾・台南神学院)
- 「日本基督教朝鮮教団(1945)」 李元重 (同志社大学)
- 「戦後の日本基督教団の戦争責任問題(1945～)」 川口葉子 (立教大学・東京基督教大学)



日時 2024年 **9月13日(金)** **会場** 金城学院大学 E1棟-102教室
 14:30~17:30 (名古屋守山区大森 2-1723)
 名鉄瀬戸線「大森・金城学院前」駅、徒歩5分

戦時期の日本基督教団の成立や活動については、先行研究で既に明らかになったこともあれば、未解明の諸問題も多く残されています。特に「大東亜共栄圏」各地に、日本基督教団に模して結成された諸々の「教団」(あるいは類似的な合同教会)については、近年ようやく個別の研究がなされるようになったばかりです。そこで、本シンポジウムでは、大東亜共栄圏における諸々の「教団」の実態と戦後影響史について、現時点での最先端の研究状況と未解明の研究課題を総合的に討論し、その実相に迫ります！

公開講演会

教会資料を守り伝える

— キリスト教・地域社会・アーカイブズ



日時 2024年 **9月14日(土)** **会場** 日本基督教団・名古屋中央教会
 13:30~15:30 (名古屋市東区久屋 8-6)
 地下鉄東山線・名城線「栄」駅/名鉄瀬戸線「栄町」駅、5番出口のすぐ前。

地域教会の教会史編纂においても学術界における歴史研究においても、関連する「資料」を収集し分析する作業が欠かせませんが、それには資料がきちんと保存されていることが重要な前提となります。しかし実際には、これまでに多くの資料が散逸したり喪失してしまったりした事例が数多くみられます。そこで本公開講演会では、日本では数少ない資料保存の専門職・アーキビストである新井浩文氏をお迎えし、教会資料を保存する意義やその方法、また地域社会との関わりなどをお話しいたします！



講師 新井 浩文氏
 主要著書:
 『教会アーカイブズ入門 - 記録の保存と教会史編纂の手引き』 (共著、いのちのことは社、2010年)
 『関東の戦国期領土と流通』 (岩田書院、2011年)
 『文書館のしごと: アーキビストと史料保存』 (吉川弘文館、2024年)



シンポジウム・講演会はいずれも事前申し込みが必要です。
 ◀ 記載のQRコードかURLまたはメールアドレスから必ずお申し込みください。
<https://forms.gle/GruN9EVk2PuMhMRt9>

申し込み・問い合わせ先: キリスト教史学会大会運営委員会 E-mail: shsc-taikai2024@shsc.jp

主催: キリスト教史学会 共催: 金城学院大学 キリスト教文化研究所